



安積二小だより

創立 150 周年 「花と緑と思いやり ひとみ輝く 二小の子」

郡山市立安積第二小学校
学 校 便 り No. 18
令和 7 年 10 月 3 日
文 責：校長 齋 藤 和 彦



「通知票配付」(前期)



通知票配付日..子ども達は朝からそわそわ.ドキドキ「先生,早く通知票ください!」
5校時目,担任の先生から「がんばりましたね」一言を添えられて,通知票が一人ひとりの手に渡されました。両手で受け取って..頭をさげていきます。(何も言われないのに感心)
ぱっと開いて,「ああ~,やっぱりなあ!」「えっ,まじか!」「まあ,仕方ないよなあ~」
子ども達は,それぞれに手にした成績を“受け止めて”いました。(みんながんばりました)

【がんばろう】は,“伸びしろがいっぱい”
(もっと伸びることが出来ますね)
【よい】は,“安心です”(でも油断しないでね)
【大変よい】は,“自信になるね”(後期もまた)

ご家庭では,お子さんにどんな言葉をかけられましたでしょうか?



直接体験を通した学びの効果

体験学習「ムシテックワールドの大冒険」
数々のミッションに挑戦してきた2年生。

やっぱり子どもには,五感を存分に使った..直接体験,この学びの効果は絶大だということであらためて感じてきました。

ミッション1「フィールド探検」では,森の中で..獣の“ふん”に学び,落ちているドングリや松ぼっくりに学び,フィールドアドベンチャー(ライン渡り)に挑戦!

ミッション2「プラバンキーホルダー作り」
思い出の宝物に大満足!

ミッション3「サイエンスショー」では,
「実験助手やりたい!」全員が希望挙手!

へびをさわれる!って..
ドキドキしながら長~い列。

次年度も教育計画に体験的な学習を意図的計画的に位置付けていきます。



◆◇ 校長室より ~床屋のおばちゃんのお話~ ◇◆



床屋のおばちゃんは,山形県新庄出身です。(※おばちゃん..私よりひとまわりは先輩と思います。たぶん)~おばちゃんには,私の息子も帰省の度にお世話になっていて,今でも子ども料金しか取ってくれないのだそうです。出張先のお土産持参で,帰宅より先に床屋に行くほど..の,そんな床屋のおばちゃんなんです。

そのおばちゃんが,横浜に修行に出る前..新庄での中学校時代のお話をしてくれました。

『今,学校に行けない,不登校の子が多くなってるなんて..何とも悲しくて,何でだろうって思うんだ。“いじめ”なんてことも,私が子どもの頃は,逆にいじめている子をとっめしたもんだ!』
・・家が貧しく,毎日の弁当を持ってくるのができない〇君がいたそうです。“弁当”は毎日のことです。でも,〇君は一向にお構いなし。休まず学校に来て,おばちゃん達は,自分の弁当箱から一つずつおかずを〇君に分けてあげてたのだそうです。おばちゃんはいつも卵焼きを一つあげました。〇君は,おばちゃんに,「おまえの母ちゃんの卵焼きは,いつもうまいな!」おばちゃんは,「私が作ってるんだ!どうだ~うまいだろう!」って。※おばちゃんは,毎朝,自分でお弁当を作っていたから,お母さんに見つからないように,内緒で砂糖をいっぱい入れていたそうです。(秘)~そんな〇君も後ろめたさどころか,学校を休むことは一度もなかった。

今思うと若い担任の先生(きれいな先生)は,遠足や修学旅行のときは「新しい服やリュックを買ってきてはいけません!絶対に!」(※今さらながら..〇君への気遣いだったと思う)何十年ぶりかの同窓会に新庄に集まって,〇君の笑い話に花を咲かせて..みんなみんな立派に年寄りになって..自分なりの人生を歩んで..ここに集う“あのときの大好きな仲間”に。。~こんなおばちゃんの話聞きにお得意さんが来るから,おばちゃんはまだまだ辞められない。

3月..「おばちゃん!ぼく先生になれました!〇小学校です。デビューの髪型まかせます!」なんて子もいたそうです。(この新採用先生は,“いい先生になる”と期待したくなります。)

☆おばちゃんの話に,説教じみた“不登校・いじめ教育論”を語ることはしません。ただただ..おばちゃんの生きた時代の『価値観』『仲間を思うあたり前の掟(おきて)』に賛同しました。

※「おばちゃん,いい話だけど..話が續くと,切りすぎちゃうから注意して。ほら,また今日も..」(笑)